



## 平成18年度第二回四国輸血検査研修会を終えて

愛媛県赤十字血液センター 矢野 健一

平成19年1月28日に愛媛県立医療技術大学において、平成18年度第二回四国輸血検査研修会が開催されました。

今回は「ちょっと視点を広げてみませんか？」というテーマで、3題の講演があり、「一検査技師がかかわった生殖医療」を聖隷浜松病院 佐藤和文先生、「術前・入院時・輸血前後における感染症検査の在り方」を川崎医科大学附属病院 中桐逸博先生に、「ABO式血液型不適合腎移植と抗A・抗B抗体価について」を市立宇和島病院 宮本直明先生にご講演頂きました。

今回の研修会は、愛媛県の輸血研究班班長としての最後の研修会でしたが、準備不足で直前になって慌てることが多々あったのですが、なんとか無事に終了できてほっとしています。

さて、平成19年度より中四国の血液センターの検査部門が岡山と広島に集約され四国には検査部門が無くなりました。数年後には更なる集約も予定されています。また検査部門だけでなく製剤部門の集約も3年後には行われる予定です。数年後の四国の血液センターがどのような形になっているのか正直予想ができないほど目まぐるしく状況が変化しています。

これから様々な問題が出てくると思いますが、平成19年度は愛媛センターの医薬情報担当者として微力ながら協力できることもあると思いますので、遠慮無くご相談ください。

## 平成18年度第2回輸血検査研修会に参加して

愛媛労災病院 検査科 近藤 雅子

平成18年度第2回輸血検査研修会が平成19年1月28日(日)愛媛県立医療技術大学で開催されました。「ちょっと、視点を広げてみませんか？」をテーマに午前中に講演Ⅰ「一検査技師がかかわった生殖医療」聖隷浜松病院 ハートユニット佐藤和文先生(先生と呼ばないようにとのことでしたが)午後からは講演Ⅱ「術前・入院時・輸血前後における感染症検査の在り方」を川崎医科大学附属病院 中桐逸博先生 講演Ⅲ「ABO式血液型不適合腎移植と抗A・抗B抗体価について」を市立宇和島病院 宮本直明先生にご講演いただきました。

講演Ⅰでは、自然の妊娠成立機序・体外受精・胚移植の流れ、先生が生殖医療にかかわった動機など楽しく、興味深く拝聴しました。講演Ⅱでは、HIV感染症の対応方法についてなど詳しく話していただきました。講演Ⅲでは、腎移植における抗A抗Bの問題点・腎移植がどうすれば可能か、どんな方法があるのか解りやすく話していただき、腎移植の難しさを痛感しました。

大変有意義な1日を過ごすことができ、講師の先生方・実務委員の皆様へ深く感謝いたします。有難うございました。また、平成19年度もよろしくお願い致します。

Event

第56回日本医学検査学会  
フェニックスー原点から未来への挑戦ー

日 時：平成19年5月18日（金）～19日（土）

会 場：宮崎国際会議場 ワールドコンベンションセンターサミット

Event

第55回日本輸血・細胞治療学会総会  
治療への参画ー新たな前進を目指してー

日 時：平成19年5月31日（木）～6月2日（土）

会 場：名古屋国際会議場

頑張り

平成19年度第1回四国輸血検査研修会

日 時：平成19年6月23日（土）・24日（日）

スケジュール：23日（土）

9：00～9：20 受付

9：20～9：30 挨拶・オリエンテーション

9：30～10：30 輸血業務の一元化について（西原技師）

10：30～17：00 中上級 実技講習（昼食を含む）

初級 血液製剤の基礎知識（岡田技師）

実技講習（昼食を含む）

18：00～ 懇親会（初級は希望者のみ、中上級受講者は原則参加）

24日（日）

9：00～12：30 実習（中上級のみ）

12：30～13：20 昼食 場所移動

13：20～13：30 挨拶

13：30～15：00 輸血製剤の適正使用

（東京都赤十字血液センター 松崎 浩史先生）

15：10～16：40 血小板の最近のトピックス

（愛媛大学医学部 羽藤 高明先生）

16：40～ 閉会

場 所：愛媛県立医療技術大学（愛媛県伊予郡砥部町高尾田543番地）

参加費：初級 3,000円 中上級 15,000円

講義のみ 3,000円 懇親会のみ 5,000円

定 員：初級10名・中級20名・上級若干名

（上級受講者は、中級受講済を前提条件とします。）

申 込 先：各県輸血検査研究班長まで

李 悦子 徳島大学病院 輸血部

Tel 088-633-7209 fax 088-633-7211

西原えり子 高知大学医学部附属病院 輸血部

Tel 088-880-2465 fax 088-880-2462

土居 靖和 愛媛大学医学部附属病院 診療支援部  
 Tel 089-960-5705 fax 089-960-5705  
 細川美佐子 香川県厚生連屋島総合病院 中央検査部  
 Tel 087-841-9141 fax 087-841-6157

締 切 り：5月末日まで

持 参 品：試験管立て（12×75ミリの試験管を使用）、白衣、  
 生理食塩水用噴射びん、タイマー、筆記用具（マジック含む）

参加費の振込先：114銀行 県庁支店 普通口座番号 0947248  
 口座名称 四国輸血研究班 代表 高杉淑子

※原則として、直前キャンセルによる参加費の返却はできません。（1週間前）

## 輸血検査研修会参加申込書

(フリガナ) 氏 名		性 別	男 ・ 女
勤 務 先		e-mail	
勤務先住所	〒 -		
電 話 番 号	TEL ( ) -	内線	
所属技師会		会員番号	
希望コース	初級・中級・上級・講義・懇親会	経験年数	

初級研修会は秋に徳島・香川でも開催します。日程は、7月号に掲載します。

### お知らせ

1月号に掲載しました「血液センター検査課集約に関するアンケート調査報告」の中で、集計結果が間違えていました。“3. Rh血液型検査について”の香川の実施数が52ではなく、38でした。お手数ですが修正してください。



冒頭で愛媛県血液センターの矢野さんが書かれたように、4月1日より四国から血液センターの検査課が無くなりました。これから、技師会活動も含めいろいろな影響がでてくると思います。

問題が起これば、できる限り解決できる道を探したいと思っています。また、今年度の活動は例年どおり実施したいと考えていますので、会員の皆様のご協力をよろしく願います。

今年度、香川・愛媛で輸血検査研究班の班長が変わりました。自己紹介は次号でもと考えておりますので楽しみに・・・

本年度もtransfusion四国への和光純薬の協賛が得られました。1ページを利用して各県が持ち回りで情報提供をしたいと考えています。

## 自己血輸血について

高知大学医学部附属病院 西原 えり子

輸血療法の実施に関する指針・血液製剤の使用指針で自己血輸血に関して「自己血輸血は院内での実施管理体制が適正に確立している場合は、同種血輸血の副作用を回避し得る最も安全な輸血療法であり、待機的手術患者における輸血療法として積極的に推進することが求められる。」と書かれています。安全な輸血療法とされる自己血輸血、この実施管理体制が適正に確立している場合と条件付けられたこの部分がポイントになるかと思えます。自分の血液でも一度身体から出てしまうと色々な事故（危険）が考えられます。安心して手術が受けられるように患者さんが貯めた自分の血液です。必要になった時、安全に患者さんに輸血できるよう管理体制を整える必要があります。表1に自己血輸血（主に貯血式）の利点と問題点を示しました。この表にあるようなことを充分考え合わせて管理体制を整えことが私たち輸血業務に携わる者の責務だと考えます。

【表1】自己血輸血の利点と問題点

自己血輸血の利点	自己血輸血の問題点
1. 輸血後感染症の防止	1. 人為的ミスによる他人血輸血の危険
2. 同種免疫の防止	2. 採血時の副作用
3. まれな血液型患者に対する輸血	3. 術前貧血
4. 免疫抑制作用の予防	4. 細菌汚染の危険
5. GVHDの予防	5. 確保量の限界（単純法の場合）
6. 献血血液の有効利用	6. 期限切れ（液状保存の場合）
7. 骨髄機能の刺激	7. 採血、保存、管理に人手が必要
8. 最小限の検査で経費節約	8. 保存中のトラブルによる損失
9. 同種血拒否者への対応	

輸血・血液製剤療法ガイド（文光堂）より

次に、当院における最近の自己血輸血の状況を少しお話します。表2に4年間の採血件数を外来と入院に分けて示しました。平成16年からは、外来での自己血採血の件数が入院を上回っています。全体の件数は頭打ち状態になっています。当院では自己血の採血は各診療科の医師が実施しています。従って、外来では忙しい診療の合間に自己血を採血するという状態で、医師への負担はかなりなものになっていると考えられます。この状態で自己血輸血を推進すると始めにお話した管理体制が適正なものでなくなる恐れがあります。そこで、その負担を少しでも軽減しようと試行していることが輸血部の外来患者自己血採血です。現在は一部の診療科のみを対象に実施していますが将来的には全ての診療科を対象にできたらと考えています。みなさんの施設では、自己血輸血どんな状況でしょうか？

【表2】自己血採血、外来と入院での件数の割合

	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
外来採血	62	133	195	220
入院採血	208	136	132	90
合計	270	269	327	310